

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・感染症対策のため、あまり取り組めていなかった歌唱、リコーダーや鍵盤ハーモニカのタンギングと運指などの指導を行い、各学年の指導内容の定着を図った。
- ・校内音楽会を実施し、学習した内容の成果を発表することができた。

(2) 課題

- ・音楽づくりの領域の学習を通して、音楽の要素の学びを深める。
- ・対話的、協働的な活動を通して、対話的で深い学びを目指す。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自然で無理のない歌い方で歌う技能が身に付くようにする。 ・鍵盤ハーモニカの息の使い方やタンギングを定着させる。	・音楽に合わせて身体表現しながら、よさや楽しさを味わえるようにする。 ・音楽に合わせて身体表現しながら音楽の要素の働きを実感し、それらの生み出すよさや面白さを感じ取れるような指導の充実を図る。	・自分や友達の表現した音楽に興味関心をもち、拍にのって声や音を重ねて表現する学習に楽しく取り組めるようにする。 ・表現した音楽を、お互いに聴き合い高め合う活動を多く取り入れる。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・体の使い方に気を付けながら、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けられるようにする。 ・リコーダーでは、引き続き、基本的な奏法と新しい運指を身に付けて演奏できるよう、スモールステップで指導する。	・音楽に合わせて身体表現しながら音楽の要素の働きを実感し、それらの生み出すよさや面白さを感じ取れるようにする。 ・引き続き、対話的、協働的な学習活動を通して、聴き取ったことと感じたことを共有し、考えを広げたり深めたりしていく。	・引き続き、学びを最後までつなげて深めていくために、見通しと振り返りや学習したことの系統性・つながりを明確にする。 ・練習用動画や音源などタブレットを活用し、個別最適な学習につなげる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・歌唱指導の充実を図り、声の重なりを感じ取って部分的に合唱することができるようにする。 ・引き続き、リコーダーの基本的な奏法を確かめ、新しい運指を身に付けて演奏できるよう、楽曲に合わせて指導する。	・対話的、協働的に音を音楽へ構成する学習を通して、まとまりを意識した音楽づくりができるようにする。 ・引き続き、対話的、協働的な学習活動を通して、音楽を形づくっている要素と曲想の関わり合いを感じ取り、構造の理解を深められるようにする。	・引き続き、学びを最後までつなげて深めていくために、見通しと振り返りや学習したことの系統性・つながりを明確にする。 ・練習用動画や音源などタブレットを活用し、個別最適な学習につなげる。